

ロジックエンジンの起動（コマンドライン引数）

本文書は TSCprogVer3 ユーザーマニュアルからの抜粋です。

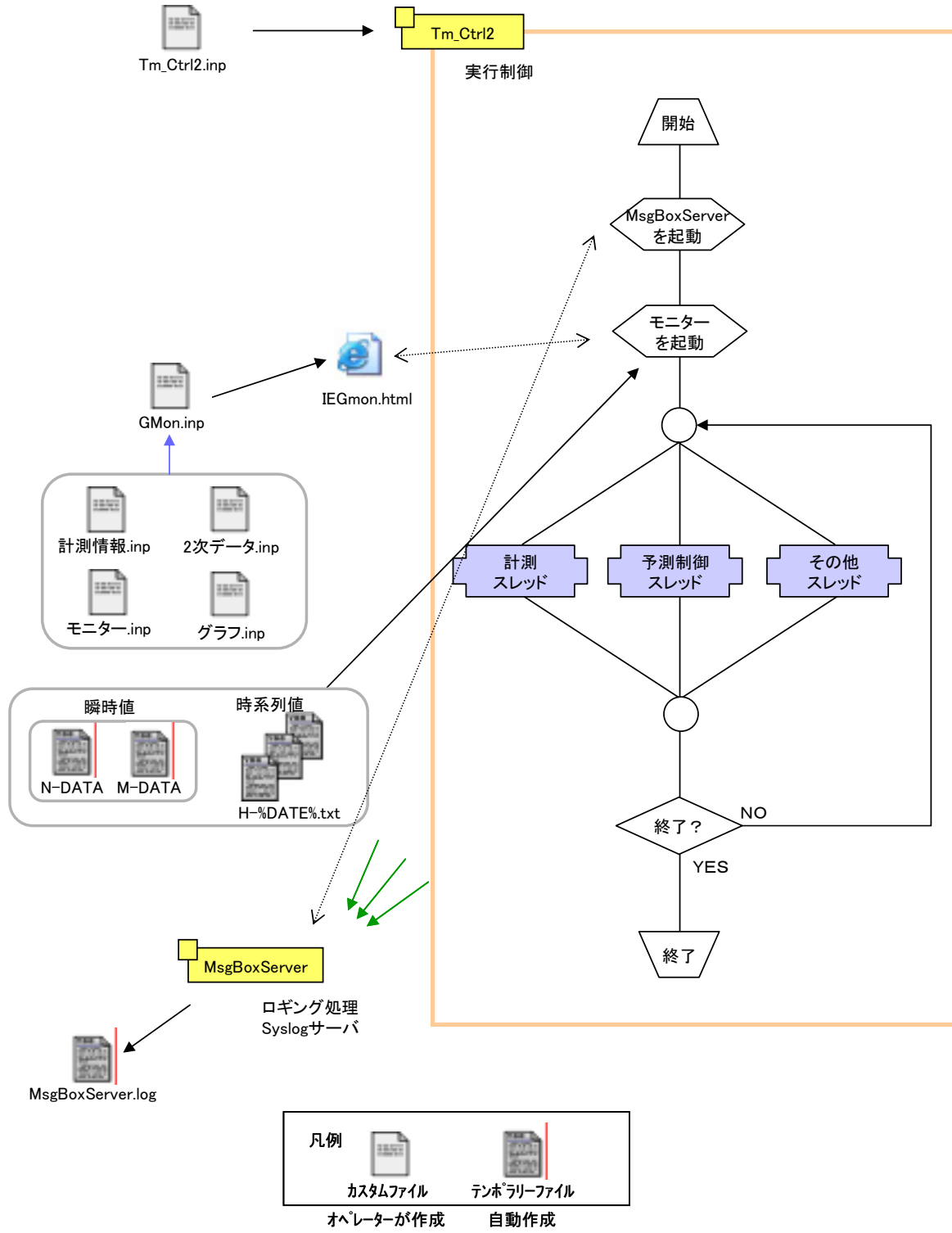
エンジン名称	Tm_ctrl2
機能概要	実行制御スケジューラ
起動方法	java Tm_Ctrl2 [カスタムファイル] [カスタムファイル]省略時は Tm_Ctrl2.inp を読み込む。
クラスパスに追加するファイル	TSCprog.jar

エンジン名称	RP2
機能概要	TSC/com を利用してオブジェクトから値を取得する。
起動方法	java RP2 InputFile DATE TIME <ul style="list-style-type: none"> • InputFile カスタムファイル名を記述する。 • 実行日付 OutputFile に記述される日付を YYYYMMDD 形式で記述する。 • 実行時刻 OutputFile に記述される時刻を hhmmss 形式で記述する
クラスパスに追加するファイル	TSCprog.jar

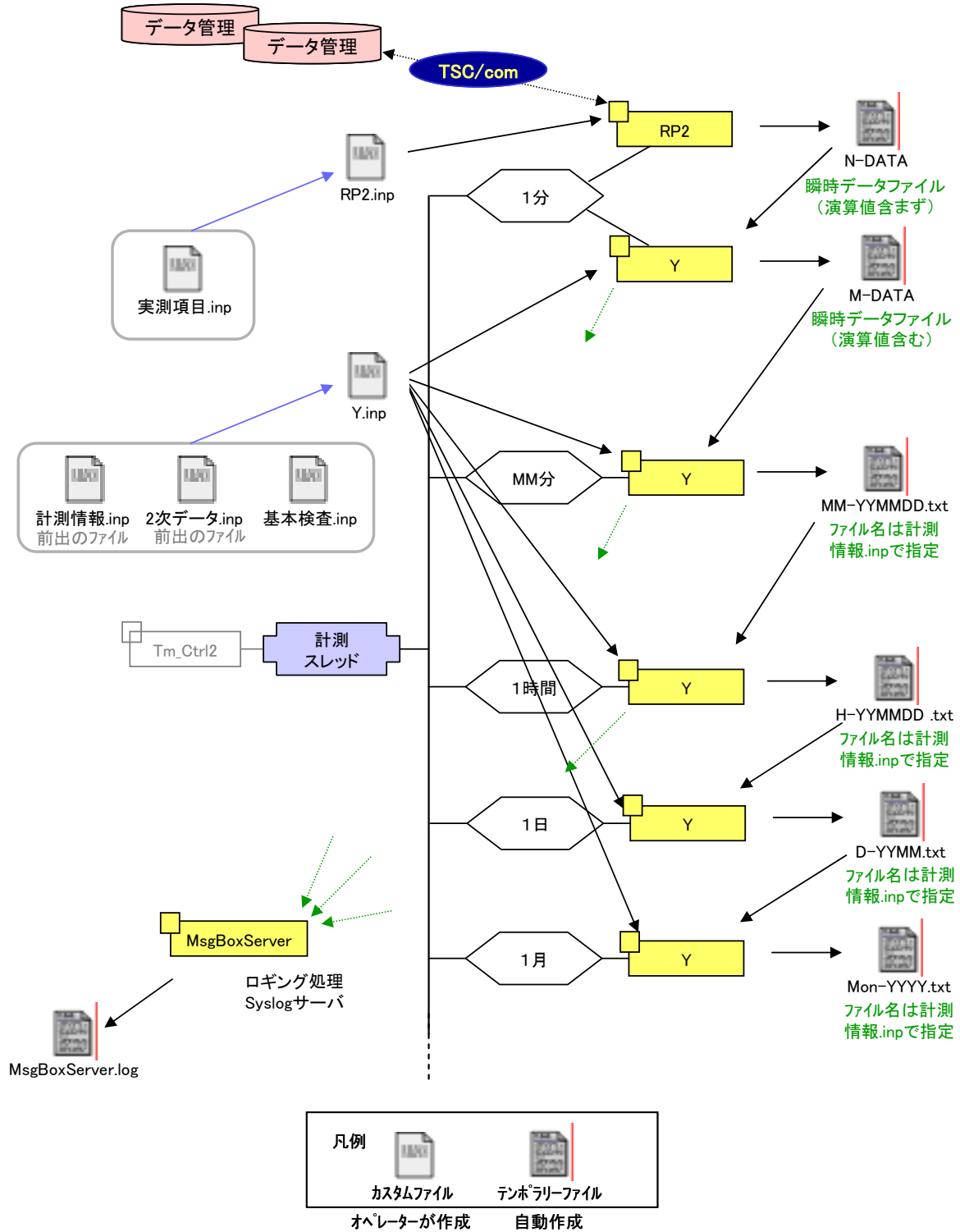
エンジン名称	WP2
機能概要	TSC/com を利用してオブジェクトに値を設定する。
起動方法	<p>「カスタムファイル方式」</p> <pre>java WP2 InputFile</pre> <p>「コマンドライン方式」</p> <pre>java WP2 Value API オブジェクト名 プロパティ名 [日付 時刻]</pre> <ul style="list-style-type: none"> • Value 書き込む値 • API 送信に用いる API として WriteProperty (P) or WriteRange (R) を選択 • オブジェクト名 値を書き込むオブジェクトの名前(グローバル名:データ管理名/ローカル名) • プロパティ名 値を書き込むプロパティの名前 • InputFile 入力ファイル • 日付 [オプション]プログラムに日付を渡す。(YYYYMMDD 形式) • 時刻 [オプション]プログラムに時刻を渡す。(hhmmss 形式)
クラスパスに追加するファイル	TSCprog.jar

エンジン名称	Y
機能概要	2次演算および上位時間データへの集計を行う。
起動方法	<p>java Y InputFileName 実行指定 [実行日付] [実行時刻]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「実行指定」には、計測情報.inp で指定したデータ種別を指定する。 mm: 1分毎データから mm 分毎データを作成する。(mm の値は計測情報.inp で定義する) H: mm データから1時間毎データを作成する。 D: 1時間毎データから1日毎データを作成する。 WEEK: 1日毎データから1週毎データを作成する。 MON: 1日毎データから1月毎データを作成する。 YEAR: 1月毎データから1年毎データを作成する。 「実行日付」 実行する日付を YYYYMMDD 形式で記述する。 「実行時刻」 実行する時刻を hhmmss 形式で記述する。
クラスパスに追加するファイル	TSCprog.jar TSCcom.jar

TSC/progのファイル構成(1/3) 全体概要



TSC/progのファイル構成(2/3) 計測スレッド



仮想蓄熱式空調システムのネーミング オブジェクト名

